

木もれ日 通信

第59号

平成28年10月
つきだて花工房発
季刊誌

◎つきだて花工房は
木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける
みなさまの公共施設を目指します。



夏の名残を惜しむ
畑に散る線香花火

禅宗の一派である曹洞宗の寺院・
岳林寺は月館町糠田地区にある。さ
まざまな表情を見せる十六羅漢でも
知られている。この岳林寺には「不許
葷酒入山門」の石碑がある。「葷酒
(くんしゅ)山門に入るを許さず」と
読み下す。「酒」は文字通り。「葷」は
匂いの強い野菜、特にネギ属である
ネギ、ラッキョウ、ニンニク、ニラ、玉
葱など、精力がつくと考えられてい
る野菜のことだ。そのようなものを
飲み食いしたものは修行の場にふさ
わしくないので、立ち入りすべからず
ということである。

その葷のひとつ、ニラはヒガンバナ
科ネギ属の野菜で、この辺では9月
頃に真っ白な花を咲かせ、畑でひと
きわ目を惹く。もつとも、花が咲くと
葉は固くなり、食用には向かなくな
る。

その強い匂いのゆえんは硫化アリ
ルという物質である。硫化アリルはビ
タミンB1の吸収を高める。他にカロテ
ンやビタミンAやビタミンC、さま
ざまなミネラルを含み、まさに健康
野菜と言える。普通「ニラと言えば緑
色の葉のものが思い浮かぶが、黄ニラ
という、遮光して軟白化させたもの
が中華料理で使われる事がある。ま
た、花茎と若い蕾を食べる花ニラとい
うものもある。これも中華料理でよ
く使われる。強い匂いは好き嫌いがあ
るが、食欲をそそる。生薬としては、
葉は「葷白(きゅうはく)」として強
精・強壯作用があると言われ、それも
仏門で禁じられている理由であろう。
強い植物で、刈り取ってもすぐに

新葉を伸ばし、年数回は収穫できる。
家庭菜園があるなら数株植えておけ
ば、春から夏の終わり頃まで収穫を
楽しめる。花をよく観察すると花弁
が六枚あるように見えるが、実際に
は三枚。残り三枚は苞と呼ばれる、花
弁を包む葉の一種だ。

真っ白な花と蕾は、じつと見つめて
いると線香花火を連想させる。蕾は
開く直前、あるいはほとりと、落ちる
直前の火玉。盛りと咲く花は盛んに
弾ける火花。花を落として種を宿し
たものは盛りを過ぎて静まりつつあ
る火花のようだ。夏の終わりの火花
は、まして線香花火は寂しい。その線
香花火のようなニラの花は、夏の終
わりを告げるかのようだ。

なお、ニラの花は夏の季語として使
われるが、当地で実際に咲く時期に
合わせて、秋の花として取り上げた。
もう一つ、ニラと間違えてスイセン
の葉を食べて食中毒になった例をよ
く耳にする。死に至った事例もあるの
で、判断に自信がない場合は口にし
ないように。



ニラの花は咲くたちのデイトスポット

つきだて花工房 オープン20周年

月館町と都市との交流拠点として、平成8年8月8日にオープンしたつきだて花工房は今年で20周年。前号ではオープンから平成16年頃までの出来事を、世の中の主な出来事とともにご紹介しました。2回目となる今回は、平成17年から現在までを振り返ってみましょう。

平成17年 4月29日に交流館もりもりがオープンしました。農産物直売所やさい工房も館内に店舗を構え、様々な体験プログラムとともに、新たな交流拠点としての歩みを始めました。

平成18年 トリノ冬季オリンピック開催。女子フィギュアスケートの荒川静香が金メダルを獲得しました。伊達町・梁川町・保原町・霊山町・月館町の5町が合併し、伊達市が誕生しました。

平成19年 新潟県中越沖地震が発生。

平成20年 北京オリンピック開催。福島市と飯野町が合併しました。この年、遊歩道が整備され、様々な花木やラベンダーの植栽、東屋の建築や道標の設置が行われました。

平成21年 オバマ氏が黒人として初めて、米大統領(第44代)に就任しました。日本では民主党が政権を取りました。この年、もの作りの拠点として里山工房が、また農業体験施設としてあぐりの家が建築されました。第1回モノ作りびとフェア開催。

平成22年 バンクーバー冬季オリンピック開催。一般社団法人つきだて振興公社が設立されました。

平成23年 3月11日東日本大震災発生、翌12日には震災による津波で電源を失った東京電力福島第一原子力発電所1号機が水素爆発。その後、国内最悪の原発事故となりました。この4月1日に伊達市からつきだて振興公社が運営を受託、新たなスタートを切りました。

平成24年 東京スカイツリー開業、ロンドンオリンピック開催。花工房では芝の貼り替えやアスファルトの表面を削るなどの除染工事が行われました。

平成25年 日本全国から組み木作家が集まる「全国組み木フェスティバル」が8月に花工房で開催されました。

平成26年 ソチ冬季オリンピック開催。消費税率が8%に増税、9月には御嶽山が噴火しました。

平成27年 北陸新幹線開業。交流館もりもりで老人作品展が復活開催されました。

平成28年 北海道新幹線開通、熊本地震発生。リオデジャネイロオリンピック開催。8月8日、つきだて花工房は20周年を迎えました。

平成17年4月29日、交流館もりもりがオープン。この日は合わせて「もりもり子どもまつり」も開催されました。テーパーカット目前の建物の様子です。



平成23年、東日本大震災の大きく、長い揺れで舗装にひび割れが生じました。建物も被災して電気や水道が止まり、再開のめどが立たない日々でした。

震災翌年のモノ作りびとフェアの様子。除染のため芝生がはがされ、土の上での開催となりましたが、予想以上にたくさんのお客様にいらしていただきました。



花工房オープン間もない頃に月館公民館で講演をお願いした俳優の柳生博さんに、つきだて花工房オープン20周年記念講演会を依頼、快く引き受けて下さいました。

※紙面の都合により、お客様ノオトは3面に掲載、花々日記はお休みします。

絵手紙教室

絵との会話、楽しんでみませんか？ 夢中になれるひととき。

講師：和田惠秀さん（切り絵作家） 参加費：1,000円

開催日：11/21、12/12、H29.1/16（全て月曜日） 開催時間：10:00～12:00

お客様ノオト

このノートはたくさんのお客様の笑顔と思い出が詰まった
つきだて花工房の宝石箱です



市川様(伊達市)

ご両家の結納会場として花工房をお選びくださいました。あいにくの雨も、お帰りになるころにはピタッと上がり、外のテラスで記念写真を撮らせていただきました。末永くお幸せに。



村上様(宮城県)

ご両親の銀婚式で、ご親戚一同様でお祝いを兼ねてのご宿泊でした。翌日は、交流館もりもりで木工体験をされ、思い思いの作品をお作りになりました。いつまでもお元気で過ごしてください。



才能教育様(福島市)

昨年に引き続きバイオリンの合宿でご利用いただきました。2日間レッスンされ、その成果をロビーにて披露していただきました。バイオリンの素敵な弦の音色が響きわたりました。



佐藤様(伊達市)

年2回開催の会席料理、涼月会席「文月膳」にて会食されました仲の良いお友達同士です。「とてもおいしくいただきました」とお帰りに感想をいただきました。違う季節の会席料理もぜひお楽しみください。



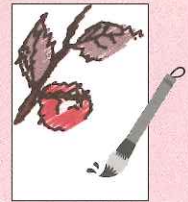
佐藤家ご家族会様(川俣町)

毎年恒例の家族会で、下は5歳から上は80歳代まで、総勢38名様で、お盆にご宿泊しながら体験されました。遠くは愛知県や川崎、南会津からご参加の方も。午前竹の伐採からの流しソーメン。午後は粉をこねるところから始めるピザ焼き体験。世代を超えて楽しめました。



伊達つくし会様(伊達市)

月に一度集まって短歌を勉強し、年に一度お泊りされているそうです。展示されていた絵手紙をご覧になり、「絵手紙に短歌を書いてはどうかしら?」と新たなアイデアが生まれたようです。



厨房のイチオシ!

秋のお膳が9月よりスタートしました。旬を迎えるきのこや鮭などの食材を使い、香りや味でも秋を感じられる内容となっております。オススメのひとつ、秋鮭錦秋焼は秋鮭をきのこ、栗、銀杏とともにホワイトソースで熱々に焼き上げ、肌寒くなった秋にぴったりの一品です。また、伊達鶏のミートローフは、伊達鶏のひき肉に野菜を加えて成形し、蒸しあげた自家製の一品です。伊達鶏の旨みを特製のオレンジソースでお召し上がりいただけます。柔らかくご年配の方にもおすすめです。



材料(4人分)

A	里芋	1kg	B	カツオ出汁	400cc
	舞茸	50g		塩	2.5g
	シメジ	50g		薄口醤油	30cc
	椎茸	50g		砂糖	大さじ1
	エノキ	50g		酒	10cc
	乾燥湯葉	4枚		味の素	少々
				生姜絞り汁	適量

〈作り方〉

- ① 里芋は皮をむいて米のとぎ汁でゆで、温かいうちにすりつぶす。椎茸・エノキはスライスし、舞茸・シメジは手でほくしておく。湯葉は水で戻して水分を取っておく。
- ② 材料Bを鍋に合わせて火にかけて、材料Aのきのこを煮る。
- ③ ②で煮たきのこに生姜の搾り汁を加え、水溶性片栗粉でとろみをつけて餡とする。
- ④ すりつぶした里芋を湯葉に巻き、天婦羅にする。
- ⑤ 器に④の天婦羅を盛り付け、③のきのこ餡をかけて完成。

季節の一品



里芋の湯葉巻き揚げ

日々の暮らしにハーブの香りを〜ハーブ教室・今後の予定
講師：瀧田 勉先生(ハーブとスローライフの研究者)
参加費：1,800円(材料費・税込)

10月31日(月) 「ハーブガーデニング・アレンジ編」シクラメンとハーブの苔玉作り
11月28日(月) 「クリスマスハーブクラフト」クリスマスハーブリース作り
12月19日(月) 「クリスマスハーブ料理」丸焼きハーブチキン

晩秋に贈る小さな朗読会 #15

オリジナルの楽曲に乗せて
朗読のワンダーランドへの扉が開く

さがしもの (角田光代作/新潮社刊)

朗読音楽劇 つぐみのひげの王さま
(グリム童話より)

構成・語り 島岡安芸和 音楽 古後公隆

■とき

平成 28 年 11 月 15 日 (火)

〔1 回目〕 午後 4 時開演 (午後 3 時開場)

〔2 回目〕 午後 7 時開演 (午後 6 時 30 分開場)

■ところ つきだて花工房

■料金

前売り 1,000 円 / 当日 1,500 円 (全席自由)

チェロ/古後公隆 ピアノ/日ノ下慶二
フルート/星優子
出演/滝浦光一 岸本真依 星 美幸
ステージング/松永さち代

【オープニングパフォーマンス】

白雪姫と七人のこびと

(つきだて花工房リーディングアラウドの会)

* つきだて花工房にてチケット販売中

* 福島駅西口発着の無料送迎バスもご利用いただけます (予約制)

発行 つきだて花工房 〒960-0903 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7 TEL 024-573-3888



参加者募集中

手作りでお正月を迎えようーミニ門松作り

竹やワラ・松など、自然素材をふんだんに使ったミニ門松で新しい年を迎えませんか? 高さ40cmほどのミニ門松を一对作る体験プログラムです。汚れてもいい服装でご参加下さい。

日時: 12月11日(日)・17日(土)
9:00 ~ 12:00
料金: 1,500 円(材料費込み)



参加者募集中

丸焼きハーブチキンで ゴージャスなクリスマスを! (ハーブ教室)

ハーブの香りが美味しいチキンの丸焼きや野菜のグリルで、クリスマスをちょっとゴージャスに楽しみませんか? ハーブ教室ではお料理だけではなく、ハーブの効能や使い方も学べます!

日時: 12月19日(月) 10:30~12:00
料金: 2,300 円(材料費込み)
持ち物: エプロン

* Hanavi では料金が 1,800 円となっていたのですが、この回に限り 2,300 円となります。お詫びして訂正いたします。



お客様の声

◆ミコが あったので良かった。今後、外国人観光客も増える中で、あると助かる設備です。今回は仕事で来ましたが、次回は家族で来たいと思います。

〈宮城県 R・T 様〉

◆今年の夏の帰省は大変お世話になりました。いつも「ただいまー」「おかえりー」のあいさつに、ふるさとに帰って来たなーと実感します。オープンからのお付き合いなのでもう 20 年。その間生まれわたが子達の産湯は、花工房でした。また絶対帰ります。花工房の皆さん、そのまま変わらなくて下さいね。皆さんのおもてなしは素晴らしいです。いつも本当にありがとうございます。

〈香川県 T・I 様〉

木もれ日通信ではみなさまからの郵便物を随時募集しております。

郵便またはメールでも受け付けております。ぜひお寄せ下さいませ。



木もれ日59号 プレゼント

花工房お食事券
1,500 円分



3名様にプレゼント

ご希望の方は官製はがきに住所、氏名、電話番号、年齢と木もれ日通信 59 号で印象に残った記事および感想をご記入の上、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送り下さい。平成 28 年 12 月 25 日の消印まで有効です。なお、ご記入頂いた個人情報についてはつきだて花工房が責任を持って管理・保管し、当館のご案内をお送りするほか、サービス向上のために利用させて頂きます。

編集後記

受付は自動受付機、精算はこれまた自動精算機でクレジットカードも使える。医大はこんなところも先進的だった。

〈つきはな〉

自然ってすごい! 毎年、春・夏・秋・冬と変わらずつやってくる。私も変わらずつやっていたけれど、気持ちには二十代で頑張ります。

〈幸〉

冬の足音と共に、鍋の美味しい季節になりました。おでんにつくね鍋、キムチ鍋、冬の醍醐味ですね。

〈あか〉

この季節、いろんな木の実集めが楽しみです。樺、えご、ナツツバキ、どんぐり、栃の実。どれも個性的な形でワクワク。

〈厚子〉

休館日 11/15, 12/6, 1/17 (全て火曜日)

ムーンセラピー 月の明かりで疲れた心を癒したい。いますくカレンダーにチェック!!

「満月の夜」 11/14(月) 12/14(水) 1/12(木)

「新月の夜」 11/29(火) 12/29(木) 1/28(土)

E-Mail flower@t-hanakobo.jp HP http://t-hanakobo.jp/

木もれ日通信59号
読者プレゼント
応募券